

令和8年度 京都大学特色入試  
解答又は解答例等及び出題意図

《 理 学 部 (数理科学入試) 》  
数学に関する能力測定考査

- ・ 一義的な解答例等を示すことが適切でない問題については、出題意図のみを示しており、解答例等を示したとしてもあくまでも1つの解答例であり、これに限りません。
- ・ 「解答又は解答例等及び出題意図」についての質問および問い合わせには対応いたしません。

## 令和8年度京都大学理学部特色入試（数理科学入試） 出題意図

京都大学の理学部特色入試（数理科学入試）では、数学に関する総合的な理解とそれに基づき問題を解決する能力、数学的な発想力、論理的思考力、明解に論証する能力といった数学に関する能力を測る出題を行っている。論述形式の解答においては、計算結果だけではなく解答に至る議論の論理性を重視し評価を行う。

以上の考えに基づき、各問題は次のような観点から出題している。

### 問題1

平面図形に関する総合的な理解と数学的な発想力を問う。

### 問題2

確率を題材として、本質的な情報を把握し数学的に立式する能力、明解に論証する能力を問う。

### 問題3

空間領域内の格子点の個数を題材として、正しく推論をしてそれを的確に表現する能力、格子点の個数を適切に評価する計算力と論証力を問う。

### 問題4

微分積分学の総合的な理解、関数の満たす関係式から関数の性質を見抜く洞察力、明解に論証する能力を問う。